

龍
拔
見
德
街
論

第
八
編

大藏省
翻譯課



114
A1127
10



龍校現德街論草八章

英國銀行ノ政度ヲ論ス

英國銀行ノ頭取副頭取各一名及ニ取締役若干名在テ之カ百般ノ事務ヲ管理ス蓋レ此等ノ役負ヲ撰擧スルノ法及ニ其在任ノ期限ハ大ニ全局ノ事務ニ影響スル者ニシテ理論上ヨリ之ヲ云ハハ毎年退職ノ取締役若干名ハ一年間非役ニ處ルノ後更ニ株主ノ再撰ヲ待ツ者トス然リト雖モ若在職取締役ノ之ヲ望ムハハ大抵非役一年ノ後必ス其職ニ復スルカ故ニ實際上取締役ノ撰擧ハ之ヲ自撰ト云フモ不可ナキナリ然リ而シテ斯ノ如キ者ハ既ニ數年來ノ慣行ニシテ今ニ至テ是レヲ廢棄セント欲スルモ容易ニ得可カラサルカ如シ該役負中若シ死亡スル者アル歟或ハ辭職スル者アリテ其定員ハ缺位アルキハ即チ在任ノ衆取

締役
奉スルノ例ニシテ余ノ聞ク所ヲ果シテ信

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

八尾山文譯

ナリ
云ヘリ且又新タニ取締役ニ列スル者ハ必ス若年ナルヲ要スル
ノ理在テ存スルカ故ニ在職ノ衆取締役ハ倫敦諸會社中ノ旧家
ニ就テ若年ノ最モ才氣ニ富ミ且大ニ後年ニ望ミ屬ス可キ弱冠
ヲ搜索シ就中其才能ノ能ク銀行取締役ニ適ス可レト思惟スル
人ヲ撰擧スルナリ該職ニ就クヲ以テ得ル所ノ身分ハ嘗ニ被撰
者一己ノ譽レノミナラス又タ被撰者所屬ノ商社ニ取ラモ大ニ
譽レトスル所アルヲ以テ此撰ニ當ラント欲スルノ熱望ハ幾シ
ト到ル所トシテ之アラザルハナレ然レモ在職ノ衆取締役ハ只
管ラ後日該銀行ノ政度ノ将来愈益確定全良ナランヲ冀望ス
ルヲ以テ撰擧ノ際ニ於テ毫末ノ私心ヲ動カスヲナレ是ニ於テ
カ天下撰擧ノ教習シト至レ後々斯ノ如ク精撰ヲ得ル者太々稀
少ナリ然ル所以ノモハ全ク撰擧者カ該銀行将来ノ為メニ能

と

ク充分ノ心カヲ竭レ以テ既ニ某ノ業務ニ従事スルヲ始メタ
ル年齢ニシテ且ツ二十年ノ後ニハ必ス実力者ト成ル可キ十分
ノ見込アル者ヲ撰擧メント欲スルノ実意アル冀望ニ由ルモノ
ト謂フ可キナリ
蓋シ年齒ハ該撰擧ノ要点ナリ何トナレハ頭取、副頭取ノ職ハ取
締役ノ巡踐スル所ナレハナリ然リ而シテ副頭取ハ常ニ頭取ノ職
ヲ襲キ最モ老輩ノ取締役ニシテ目下非役ニ在ル者ハ通常副頭
取ノ職ニ進ム者トス然レモ疾病或ハ止ムヲ得カル一時ノ職
業ニ管ル等一身上ノ事故アルニ方リテハ暫時就職ノ期ヲ遷延
スルヲ得ガルニアラス或ハ又々稀レニ極メテ繁忙ナル商人
ハ全ク其職ヲ辭セシノ例ナキモアラスト至レ概シテ之ヲ
云ハハ此巡踐ノ制ハ決シテ違避ス可カラガレモノナリ故ニ一
ニノ外ハ其頃番ニ進ムキタル所ノ取締役ハ豫メ

頭取

頃番ノ四リ来ル遙カ以前ニ用意又可シト云フニハアラガルナ
 リ但シ凡ソ取締役カ所謂椅子頭取ノ職ニ達スルハ通常始メテ
 取締役ニ擧ラレテヨリ幾ント二十年ノ後ニアルナリ而メ頭取
 副頭取ノ任タルヤ實ニ最重ノモノナルカ故ニ此職位ヲ占ムル
 者ハ尚ホ健剛不撓ノカナ夫ハガル者ニ非カルヲ得ヌ是レ該銀
 行取締役ノ最初撰ニ当ルモノ、必ス若年ナルヲ要スル所以ナ
 リ
 然レモ未タ此事情ニ通セガル者其何等ノ故ナルヲ知ラスレテ
 往往疑惑ヲ抱クアルハ又タ恠シム可キトニテラス余モ数年以
 前ニ容貌滑美ノ一少年ヲ見テ此人ハ英國銀行取締役ノ一人ナ
 リト聞シ其ハ覺エズ驚駭シタリキ余常ニ惟ヘラク英國銀行ノ
 衆取締役ハ皆テ諸般ニ通曉シテ充分ノ熟練ヲ有スルノ人物ナル

と4

可シト然ルニ豈ニ因ランヤ斯ル可憐ノ少年ニシテ取締役ノ一
 人ナラントハ是ニ於テカ余復タ惟ヘラク斯ノ如キ少年ニ斯ノ
 大任ヲ負擔セシムルハ聊カ危殆ナルベシ又タ斯ノ如キ少年ハ
 必ス充分ニ該銀行ノ事務ヲ処辨シ能ハガル可シ又此輩ヲシテ
 之ヲ処辨セシメハ到底該銀行ノ禍害ヲ惹起スルノ他ナカル可
 シト
 然ルニ尚ホ深ク之ヲ探窮スルニ於テ始テ少年ノ取締役ハ禍害
 ヲ惹起ス可キカナキヲ悟レリ夫レ一局ノ中ニ於テ數多ノ老成
 者アルハハ少年者ノ権力ノ微弱ナルハ自然ノ道理ナリ万一又
 タ少年者ニシテ一時権力ヲ握ルトアルニ方リテハ英國銀行ニ
 於テハ容易ク之ヲ奪フノ用意アリ既ニ前ニ云ヘル如ク毎年若
 干名ノ取締役ハ一旦退職スルノ慣例ナリト雖モ此ニ又推讓ノ
 儀行ナレバ退職スル者ハ常ニ少年者ニ多ク而シテ頭取

ノ職位ノ歴史
タル者ノ如キハ平常勤スルヲ以テ少年者ハ
帝ニ浮沈ヲ受クルノ部分ニ居リ老成者ハ永勤ニ安ニスルノ部
分ニ居ルナリ斯ノ如クナルニ由リ少年ノ取締役ハノ権力ニ乏
シキモ強ラ怪シムニ足ラス而カモ該銀行ノ取締役ニ對シテハ
批難ス可キ條件頗ル多シト雖氏不熟練ノ少年者ヲシテ帝ニ更
迭セシムルノ一点ニ至リテハ決シテ批難ス可キニアラザルナ
リ高又未熟役員ノ横行ヲ防止センガ為メニ老成者則テ審テ頭
取ノ職位ヲ踐歷シタル輩ヲ以テ金藏委員ト稱シ権力无限ノ一
局ヲ編成シタリ余ノ是ニ无限ノ権力ト云ヒシハ該委員ノ権力
ニ未タ曾テ確乎タル権限アルヲ聞カス亦タ判然タル権限ヲ定
メ得可キ歟ヲ疑フカ故ナリ或ハ曰ク該委員ハ該銀行ト政府ノ
間ノ種々ノ關係及ヒ高議上ニ於テ一種特別ノ権限ヲ現行スト
然レ氏是レハ当任頭取ノ性質ニ由リテ大ニ變化スル所アルヲ

信スルナリ例ハ活潑ナル頭取ハ万緒自ら擔當シ柔弱ナル頭
取ハ其関涉スル所常ニ狭域ニ止マル可シ故ニ該委員ノ権力ハ
当任頭取ノ性質ト共ニ變化スル者ニシテ永久同一ナルト能ハ
スト雖氏高ホ其権力ハ帝ニ著シキニ處ルヤ明ラカナリ何トナ
レハ該委員ハ擧ナ既ニ要地ヲ歴踐シ万緒ニ熟練シタル老成者
ヨリ成立シタル重職ニシテ恰モ國ノ行政官ノ体裁ヲナスカ故
ニ此内閣ノ評決ハ必ス善惡共ニ大権力ヲ有セザルヲ得ザレバ
ナリ
旧規ニ因リテ英國銀行ノ取締役ハ自家營業ノ銀行者タルヲ許
サス是レ旧時ノ遺習ニシテ各銀行者ハ其營業上ニ於テ必ス多
少互ヒニ利害ノ相反セルモノアリテ就中同所ニ營業スルモノ
ニ在リテハ格段ニ利害ノ相反スル者ナリトノ仮定ニ由ルナリ
故ニ以テ倫敦各銀行者ハ決シテ英國銀行ノ取締役トナルト

能ハス彼輩モス敢テ設職ニ列スルヲ企望セザル可シ蓋シ余カ
爰ニ銀行者ト名称スル者ハ我カ英國謂フ所ノ銀行者ノ意ナレ
ハ若シ外人ヲシテ之ヲ開カシムルキハ或ハ其意義ニ於テ疑惑
ナキ能ハザル可シ現ニ彼ノ司スルソド社負ハ該銀行取締役ノ
一人タリ是ニ於テカ外人ハ必ス思惟ス可シ若シ果シテ銀行者
ハ英國銀行取締役トナルヲ得ザルノ旧慣ニシテ存セハ司ステ
ルト社負モ亦銀行者ノ一人ナリ何カ故ニ獨リ彼レニ偏ナルヤ
ト夫レ然リ然レハ外人カ認メテ以テ疑團ヲ起ス所以ノ者ハ則
チ我國謂フ所ノ銀行ト外國謂フ所ノ銀行ト其ノ意義ニ於テ大
ヒニ差異スル所アルヲ證明スルモノニシテ畢竟我國ノ意義ハ
之ヲ外國ニ比スレハ遙カニ發達進歩セシモノナリ其レ同ステ
ルソド社負ハ攀ナ莫大ノ財主ナレハ其手許ニ於テハ必ス夥多ノ
他借金ヲ有ス可シト雖モ請求ニ應シテ拂フ可キ百封度ノ全回

チ借入レ五封度ツ、ノ手形ヲ以テ之ヲ拂戻スボノ事ヲ為サス
而カモ此ボノ事ハ英國ノ所謂銀行ノ通常為ス所ナリ嘗ニ此差
異ノミナラス彼高社ノ他借金ハ常ニ巨額ニシテ且ツ悉ク同一
ナルニハアラザレバ各々長短ノ期限アリ而シテ英國諸銀行者ノ
取扱フ所ハ少額ノ蒐マリタルモノニシテ都テ最短期限ニア
ラザレバ則チ請求ニ應シテ拂ヒ戻ス可キモノナリ故ニ此ノ二
者ノ資財運用ノ方法ノ如キモ亦自ツカラ大ヒニ差異スル所ア
ルナリ外人ハ為換業即チ外國ニ係ル手形ノ賣買ヲ以テ銀行者
ノ本業ナリト思惟セリ然ルニ余カ前ニモ説明セシ如ク外國手
形賣買ノ業ハ昔時ノ銀行ニ於テ未タ預金銀行ノ制ナキノ日ニ
當リテ只便利ノ為メ仮リニ取扱ヒタル事業ノ一ナルニ過キザ
ルノミ然リト雖モ預金銀行ノ制立テ以來ハ英國ノ諸銀行者ハ
唯ニ国内ノ諸地方ト倫敦間ヲ為換ヲ取扱フノミナルニ由リ倫

敦ニ於テハ重キナル外國手形賣買ノ業ハ既ニ諸銀行者ノ手ヲ
脱シテ此輩ノ取扱フ所ナラス故ニ此輩ノ中十カ八九ハ外國手
形賣買ノ大ナル運用ノ如何ニ為ス可キモノナル歟ヲ知ラス今
ヤ為換賣買ノ業ハ別ニ外國為換仲買人ナル一種ノ商社アリテ
之ヲ取扱フコトナリロズナル下商社ノ如キハ即チ其最モ大ナ
ル者ナルノミ然ラハ則チ銀行者ノ取締役タルヲ禁スルノ規則
アルニ拘ハラス該商社ノ社員ハ英國銀行ノ取締役トナルニ於
テ決シテ支障ナキナリ何トナレハ該商社ヲ金銀ヲ借入ルノ所
ノ期限或ハ之ヲ使用スルノ方法ニ就テ見ルモ該社ハ決シテ英
國ノ所謂銀行者ノ班ニアラザルニ由テナリ然リ而シテ英國ノ所
謂銀行者ク英國銀行ノ取締役タルヲ許サザルノ規則ハ高ホ嚴
然トシテ存シ毫モ其力ヲ失ハス故ニ私立銀行者營ノミナラ
ス合本銀行ノ取締役ヲ務ムル者ト雖モ都テ該員ニ列スルコトヲ

得可カラス蓋シ彼此ノ地位両立ス可カラザルカ故ナリ
英國銀行取締役ノ一境ハ各ハ幼少ノ時ヨリ見慣レ聞習レテ育
チタル傳來ノ高業ニ於テ莫大ノ財本ヲ運用スル所ノ熟達ノ商
人ナレハ攀テ該銀行ニ最モ貴重有益ナル目下高業ノ景况及ヒ
衆高ノ性質貧富等ニ関シ常ニ其実情ニ通スル者ナリ加之ノミ
ナラス此輩ハ又其慣習ト天性トニ由テ須臾モ其營業ニ怠タル
コトナク能ク充分ノ注意ヲ加フル者ニシテ而シテモ多クハ幾千ノ餘
暇ヲ有スルナリ蓋シ自己ノ財本ノミヲ以テ多年間一ノ高業ニ
従事スル者ハ仮令ヒ其財本如何程巨大ナリト雖モ決シテ主
任者ノ全力ヲ要スルニ至ラス若シ又主任者ノ全力ヲ要スル繁
忙ノコトアラハ是レ日業ノ整理セザル徵候ニシテ或ハ屬員ニシ
テ善ク運ヒ得可キノ小事モ主任自ラ之ニ関涉シ或ハ過多ノ投
機業ニ従事スルカ如キハ不知不識其ノ財本力ノ及ハザル巨債

ヲ員フニ至ルモノナレハ終ニ身代ノ破滅ヲ招クノ基トナル可
シ故ニ何レノ都市ニ於テモ商才アリ経験ニ富ムノ商人ニシテ
其幾千ノ閑暇ヲ益用センコトヲ冀望シ殊ニ公同商社ノ取締役ト
為ルヲ喜コケ者甚ク多シ是ヲ以テ英國銀行ノ取締役ハ後米教
世ノ間斯等ノ人物ヨリ組成シタリキ
凡ソ合本會社ノ斯ノ如キ政度ハ若シ其ノ要領ヲ得バ最モ良シ
ト雖モ一旦之ヲ失スルハ其害却テ甚ハダシキニ至ル者ナリ
蓋シ會社ノ事務ヲ管理スル所ノ人物ハ必ス商業大体ノ智識ヲ
有スル者ナレハ其役事スル一個ノ專業ニ精ナル者ニアラス故
ニ此缺ヲ補ハハシカニ為メニ通常合本銀行及ニ合本會社ニ於テ
ハ特ニ其專業ニ熟達シタル人ニシテ其才能ト年来ノ經驗トヲ
竭シテ專ラ會社ノ事務ニ役事ス可キ者ヲ擧ケテ之カ管理者ト
為シ又タ取締役若シクハ擔任委員ナルモノアリテ該管理者ニ

謀リ其説ヲ聞キ然ル後ニ會社ノ施行スベキ事務ヲ決スルナリ
故ヲ以テ通常合本會社ニハ必ス專業ニ熟練シタル固着ノ^{事務}
者ト必ラスシモ專業ニ精ナラガレ更迭ノ評議役アリ而シテ固着
ノ管理人ハ永ク其專業ニ役事シテ多クノ經驗ヲ有シ取締役ハ
時々更迭スレハ商業ノ大体ニ熟達スル者ナリ
然リト雖モ英國銀行ニ於テハ斯ノ如キ固着ノ施務者ナク其施
務者タル頭取及ニ副頭取ハ皆十二年毎トニ変更スルナリ惟フ
ニ該銀行ノ創業者ハ其初メ必ス斯ク為スノ意ニテハアラザリ
シナルベシ何トナレハ大ナル特權會社ノ數僅カニ止セリ
シ昔日ニ於テハ其頭取ハ定期ニ由リテ擧奉カレタル者ナレハ
其實ハ當任者ノ人望ト共ニ勤シ而カモ昔日ノ頭取ハ評議役
ノ頭人ナリシヲ以テ通常異黨ノ生スルニ非ザルヨリハ決シテ
変更スルコトナカリシニ由ラナク然リト雖モ此想像ハ今日ニ於

テハ聊カモ英國銀行ノ組織關係ヲ有セス故ニ當時ノ頭取及
ヒ副頭取ハ必ズ二年毎トニ更迭スルヲ常トシ二年ヨリ永ク在
任スルヲ實ニ格外ノ場合ニシテ平常ハ甚ハク罕レナリ且又
英國銀行ノ頭取及ヒ副頭取ハ決シテ虚位ナルヲ能ハス不断出
社シテ或ハ非常ノ貸金請求者ニ面接シ或ハ該銀行ト其大得意
先キ(即チ政府)トノ間ノ間断ナキ通信ヲ取扱ヒ或ハ社務ノ要件
取締役若シクハ金藏委員ノ評議ニ委スルヲ概シテ云ハハ通常
ノ會社ニ於ケル管理者ノ職掌ヲ都テ擔當セザルヲ得ス此首任
の事務者ノ下位ニハ實ニ有力ノ課長アリ殊ニ割引課長ノ如キハ
才智經驗兩ナカラ兼備スルノ人ナラザル可カラス然レモ此等
ノ役員ハ素ト属役ニシテ普通銀行ノ總務管理者ノ如ク百事ヲ
擔當スルノ首任ニアラス故ニ施務者(即チ頭取及ヒ副頭取)ハ不
断出社シテ其席ヲ虚フセス以テ此等ノ属役ヲシテ首任ノ地位

ヲ占ムルヲ能ハサラシムルナリ蓋シ活潑有為ノ頭取ハ終日出
社スルヲ以テ必ズ重要ノ事務ヲ渾テ自カラ取扱フナリ又ク止
ムヲ得スレテ取扱フモノナリ
道理上ヨリ見レハ銀行ノ為メニハ此政度ノ如ク不適宜ノモノ
ハ又他ニアラザルベシ今マ其役員ヲ擧レハ曰ク更迭ノ施務者
曰ク若年ニ過クルノ取締役曰ク高齢ヲ以テ要賢トスル老年ノ
事務委員ホニシテ熟練ノ銀行者ト称スルモノ一人モアラザル
ナリ
是ニ由ラ之ヲ見レハ假令ニ英國銀行ヲシテ尋常普通ノ一銀行
ナラシムルモ尚ホ斯ノ制度ハ不充ナル可シ況ンヤ至大至重
ノ擔任アル該銀行ニシテハ斯ノ制度ノ當ニ不適当ナルノミナ
ラス更テ生スル所ノ弊害ノ愈々大ナラザルヲ得ザルオヤ夫レ
英國銀行ハ該一國ノ銀行準備金ノ單獨ノ保持者ナレハ假令ニ

銀市ニ如何ナル変状アルモ又交易上ニ如何ナル変況アルモ常
ニ斯ノ準備金ヲ保持セザル可カラズ又タ驚慌ニ遇フテハ何種
ノ貸出しヲ為ス可キ歟且幾許ノ金額如何ノ期限ヲ以テ之ヲ為
ス可キ歟ヲ断決セザル可カラザルナリ今是等イ職掌ハ之ヲ至
大至重ナリト云ハザルヲ得ス然ハ則チ其制度ハ特別ニ完全ナ
ラザル可カラザルナリ然ルニ尚ホ斯ノ如キ不充分ナル制度ニ
由レリ是レ常ニ再他銀行ノ制度ニ劣レルノミナラス原ト何者
カ斯ル制度ヲ以テ新起銀行ノ模範トシ創起セシ歟ヲ惟ハハ人
誰カ之ヲ唾突セザル者アラシヤ若シ之ヲ模範ト為スノ見込ニ
ラアリシト云ハバ衆人將ニ謂ハントス曰ク斯ノ制度ハ極メテ
古風ノ者ニシテ伎ヲニ奇異ナル耳ト
然リ而メ其制度ニ由テ起ル所ノ自然ノ善惡成果ハ該銀行ノ歴
史上ニ明カナル所ニシテ該銀行ハ重要ノ一点ニ關シテ大ニ他

者ニ勝レル者アルナリ則チ該銀行ヲ以テ之ヲ同時代ニシテ同
等ノ諸銀行ニ比スレハ其營業上ノ損失恐ラクハ稀少ナリシト
是レナリ余嘗テ該銀行ノ事歴ヲ記セル諸書ヲ通閱スルニ未タ
巨額ニシテ且ツ信憑ヲ失フカ如キ確カナラザル負債ヲ為セシ
トアルヲ見ス亦タ一個人若シクハ一會社ノ私利ノ為メニ事ヲ
謀リタルノ踪跡ヲ見ルヲナシ是レ蓋シ該銀行取締役ノ常ニ自
重ナルト且ツ行務ノ際充分ノ注意ヲ加フルトニ因リテ不正不
信ノ行為ヨリ全ク免カルトヲ得タルカ故ナリ加之ノミナラ
ズ評議席ニ列スル鄭重ナル高人ハ拳ナ手形及ビ諸證券ノ明断
者ニシテ不正ナル取引ノ最微ノ微効モ速カニ發見シテ漏ラヌ
トナク如何ニ詐欺術ニ巧ミナル者モ彼等ノ良心ヲ昏迷シテ其
明断ヲ誤ラシムルヲ得ザルナリ故ニ英國銀行ノ取締役ヲシテ
彼ノ輕率事ニ送フヲ以テ竟ニ禍害ヲ招キタルトオベレンド會社

ノ所為ニ倣ハシメント欲スルモ若シ能ク衆取締ノ精神ヲ昏迷
セシムルカ如キ神術ヲ以テ彼等ノ性質ヲ全ク變化セシムルニ
アラガレヨリハ決シテ能ハサル可シ又タ斯ノ取締役ノ管理法
ヲシテ彼ノ合衆國銀行ノ危險ナル道路ニ向ハシムルヲ得サ
ルヘキナリ而シテ該銀行カ其史中曩モ困難ナルノ時期ニ於テモ
尚ホ負債償還ノカヲ有シ其巨大資本ノ到底安全ナルヲ得テ実
ニ毫末ノ疑フ可キモノナカリシハ豈ニ衆取締役ノ自重謹慎ナ
ルノ効ニアラガレヲ得ンヤ

其レ然リ然リト雖モ既ニ我輩カ論セシ如ク英國銀行ノ処置上
ニハ人ノ非難ヲ免カレガレモノ頗ル多シ而シテ財資困難ノ時際
ニ於テ該銀行カ自家ノ禍害ヲ招クノ甚シキニ至ラガリシカハ
知ラカレモ其制度ノ缺點ハ愈々太甚シキニ至リタリ
實ニ英國銀行ノ施務者ハ彼ノ責任ヲ帶ヒタル永久ノ長官ナキ

外務若シクハ内務ノ行政官ト甚々相似タル所アルナリ政府ニ
於テ此等部局ノ長官ハ殆ント英國銀行ノ頭取ト一般屬ハ相更
迭シ副長官モ亦該銀行ノ副頭取ト殆ント其有様ヲ等フス故ニ
若シ政務ノ瑣事ニ至ルマテ專テ該二職ノ擔任スル所タラシメ
ハ政務ハ當ニ此時ト共ニ廢ラレンノミ如何トナレハ新クニ就
職スル者ハ其役目ノ慣例ニ素熟ナキカ故ニ如何ナル人物ト雖
モ其銳意活發以テ事ニ従フヲ得スレテ實ニ政務ハ全ク阻滯ノ状
ヲ現ハス可ケレハナリ然リト雖モ事實ニ就テ之ヲ見レハ永久
ノ屬官アリテ新任ノ長官ヲ輔佐スベシ而シテ此永久ノ屬官ハ
屬内尋常ノ事務ヲ取扱フヲ以テ兼テ局務ノ秘書及ヒ慣例ヲ諳
知シ恰モ新旧ノ政務ヲ弥縫スルノ接統線ヲ成スナリ然ルカ故
ニ長官ノ屢々更迭スルニ拘ハラヌ能ク省務ヲ相統シ得ルモノ
ハ全ク此輔役アルカ為メニシテ若シ之レ勿セハ政務ハ直チニ

中絶スルニ至ルヤ必セリ然ルニ英國銀行現當ノ制度ハ曾テ永
勤ノ助役アルナク又タ新旧ノ政務ヲ弥縫スルノ鎖クトナル可
キ者無クシテ斯ノ如ク永久間断ナク追年繁忙ニ趨ク所ノ重大
困難ノ事業ヲ管理セントスルモノナリ如何ツ之ヲ全良ノ制度
ナリト云フ可ケンヤ

人或ハ之ヲ駁シテ云ハン英國銀行頭取及ヒ副頭取ノ職掌ハ之
ヲ政府諸省長官ノ職務ニ比較スレハ其任ノ輕重大ニ懸隔スル
所アレハ決シテ同一理ニ見做スベカラズト夫レ然リ單ニ其勞
役ノ点ニ就テ之ヲ論セハ其輕率口談銀行ノ頭取ニ在ラン何ト
ナレハ銀行業ハ素ヨリ非常ノ勞役ヲ要スルノ業ナル可カラズ
若レ銀行頭取ニシテ自カラ非常ノ勞役ニ服反ヌ可キモノナラ
ハ則テ是レ其制度ノ完全整頓セザルト老練熟達ノ助役ヲ缺ク
ノ証徴ナラサルヲ得ザルニ由テナリ然リト雖モ其職掌ノ重要

ナル点ニ於テハ該銀行頭取ノ職務ハ決シテ諸省長官ノ職務ニ
譲ラザルナリ夫レ該銀行預ル所ノ該一回ノ準備正金ハ普ク衆
人ノ知ルカ如ク最モ貴重ナル預金ナリ而シテ該銀行頭取カ驚慌
ニ際シテ処理スル難事ハ(該銀行ノ職務トシテ驚慌ヲ処理セザ
ル可カラズ)恐ラクハ一宰相ニ係ルノ任ヨリモ幾層カ急劇ノ難
事ニシテ且ツ自他並立ノ困難事ヨリモ通例俄カニ發起スルモ
ノナレハ之ヲ処スルニ又幾層ノ迅速ニ出テザルヲ得ヌ故ニ此
難事ヲ処理スルニ必用ナル非常ノ判決力活潑ノ銳氣及ヒ敏捷
ノ精心ハ世間實ニ其物寥寥タルナリ
今自然ノ理ニ從ツテ此組成ノ不充分ナルヲ補フノ術ハ該銀行
ニ永勤ノ頭取ヲ置クノ外アル可カラズ既ニ前ニモ云ヘル如ク
斯ノ如キ組成コリ實ニ該銀行創立者ノ素志ナリシヤ疑ヲ容ル
ベカラズ何トナレハ凡ソ諸會社ノ一千七百年代ニ創立セシ者

… 尽ク此組成ナラザルハナク而シテ其ノ今日ニ尚ホ永続スル者
… 都ラ其旧制ヲ存シ現ニ彼ノホツトシテ灣會社、南海會社及ヒ
東印度會社ノ如キハ其組成拳ノ首任専施ノ種類ニシテ永勤ノ
制ナレハナリ蓋シ會社ノ制未タ一般ニ行ハレザル世ノ中ニ於
テ結社ヲ企ツル者カ多ク斯ノ制ニ於テハ實ニ自然ノ勢ト云フ
可シ何トナレハ當時ノ人々ハ其平日ニ於テ専断ヲ以テ取扱フ
所ノ事業ヲ見ルニ慣レ此輩ハ迅速ナル判決ト確乎タル処置ノ
貴重ナルヲ熟知シ又タ此輩ハ其ノ執業ノ順序ヲ他者カ了解感
服スルカ如ク明亮ナル論理ニ因リテ説明スルヲ得カルノ際
ニ於テ最モ全良ニ其ノ業務ノ管理ヲナレ得タルヲ屢ニ實驗
シタレハナリ且又凡テ市民ガ放銀シテ以テ利潤ヲ得ルヤ多ク
ハ之レヲ得ベキ充分ノ道理カリテ然ルモノナリ然レバ該市民
ニシテ若シ該院委員ノ面前ニ於テ斯ノ利ヲ得ル所ノ道理ニ就

キ具サニ之ヲ説明センヲ望マシムルニ方リテハ決シテ之ニ忘
スルコト能ハザルニ蓋シ此輩ハ曾テ此等ノ道理ヲ了解スルモ
ノニアラス故ニ此業カ結社ヲ企ツルニ當リテハ只從來好成果
ヲ得タル者ヲ以テ之カ模範ト為スハ實ニ自然ニ出ルモノナレ
ハ此輩ハ餘事ハサテ置キ先ツ必ス施務者ヲ定ムルヲ以テ始ム
可キナリ然リ而シテ斯ノ如キ者カ英國銀行創立者ノ素志ナリシ
一談創立者カ其銀行ニ與ヘタル名称ヲ以テ既ニ判然タリ祖シ
該銀行總体ノ稱ハ之ヲ英國銀行頭取及ヒ社負ト呼フナリ夫レ
斯ノ如ク創立者ハ施務者即チ頭取ヲ以テ特別ニ記シ而カモ冒
頭ニ記スモノハ其意正ニ之ヲ至重至要ノ者ト為セシヤ寔ニ明
カナリ
然リ而シテ會社設立ノ新規ナリシ昔日ニ在リテハ當ニ斯ノ如キ
組成ニ於ルノ最モ自然ニ出ツルノミナラス既ニ永ク會社ノ經

駿ヲ積ミタル今日ニ於テモ尚ホ此組成ノ最良ナルハ多ク實際
ノ明示スル所ナリ看ヨ大ナル鐵道會社ノ如キハ悉ク此組成ニ
依ラザルハナク苟シクモ其頭取タル者ガ活發明斯ノ實地家ニ
アラスレテ鐵道會社ノ大成功ヲ奏シ得タル者蓋シ之ナキヲ看
ヨ其頭取ノ單ニ外粧ノ為メニ選ハレタル(貴族或ハ其類ノ經驗
ニ乏シキ人物ニシテ)無實ノ首任タルニ於ハ斯ノ如キ會社ノ失
敗セシ者其例甚タ夥ナカラザルヲ是ニ於テカ今ヤ鐵道會社ノ
頭取職ハ當ニ一種ノ專門トナリ此專門ノ熟練ト才力トハ實ニ
世ニ缺ク可カラザル者トナレリ斯ノ如クナルカ故ニ英國銀行
ニ永勤ノ頭取ヲ置ク可シトノ企業ハ近來ノ經驗ニ由テ愈強ク
支持サル者トナレリ
然リトモ余ハ尚ホ該方策ヲ以テ直ニ英國銀行ニ實施スルノ
利害如何ニ関シテハ大ニ疑フ所アルナリ何トナレハ該方策ヲ

實施スルニ方テハ其害夥ナカラザルニ因リ暫ク之ヲ措テ先ツ
他ノ方策ヲ採ルノ理蓋シ一ニシテ足ラザルカ故ナリ
第一 該方策ハ人望ヲ得ルヲ頗ル難カル可シ今試ミニ其然ル
所以ヲ舉レハ蓋シ英國銀行ノ頭取職ヲシテ永勤ノモノタラシ
メハ該銀行ノ頭取ハ英國中最大権力家ノ一人トナリ倫敦府中
ニ於テ一箇ノ小王侯ノ姿ヲナシ其權遠ニ(市政官ニ勝レル)ノ地
位ヲ占有スル者ト為リ英國銀行ノ精神トナリテ無上ノ特權ヲ
有スル者トナル可シ且ツ又世上ノ高估ガハ皆彼レカ脚下ニ葡
萄シテ唯々其鼻息ヲ之レ窺フニ至ル可シ何トナレハ驚慌ノ時
際ニ於テハ彼ク意能ク一家ノ產ヲ破ラシメ亦能ク其破産ヲ救
フノカアルベケレハナリ夫レ斯ノ如クナレハ彼ク愛寵ハ榮昌
ヲ意味シ彼ク憎惡ハ破産ヲ含ムノ日到ルニキハ蓋シ照然トシ
テ明ラカナリ然リ而メ斯ノ實權ナリ斯ノ位階アルノ地位ハ最

モ人々ノ熱望スル所ナレハ世ノ事業家ハ必ス云ハントス政府
全權ノ宰相トナランヨリハ寧ロ英國銀行ノ頭取トナレト何ト
ナレハ該銀行頭取ノ在職期限ハ遙カニ宰相ノ任期ヨリ永ク又
ク事業家ノ最モ貴重スル所ノモ、即チ金銀上ニ大権カヲ有ス
ルノ職ナレハナリ且ツ宰相タル者カ事ニ臨ンテ一人ノ身代
ヲ作り得レハ該頭取ハ必ス五十人ノ身代ヲ作り得ベシ斯クノ
如クナルニ由リ該法案ノ如ク(市民ヲ制御ス可キ一小王
ヲ置クノ制ヨリ)不入望ナル者ハ定ニ府内又之レナキナ
リ是レ則チ該法案ノ遠カニ用ユ可カラザル 第一理ト
ス
第二 余ハ又斯ノ如キ地位ニ最モ適ス可キ人物ノ常ニ得ル
ノ容易ナラサルノミナラス稍ニ之ニ堪ユヘキノ人物スラ之ヲ
得ルヲ能ハカラシトナリ蓋シ一種ノ人物ヲ需ムルニ

当テ其給料ノ過當ニ失スルカ為メニ終ニ望ム所ノ人物ヲ得ル
ヲ能ハサルノ場合世間其類少ナレトセス而シテ論下ノ如キハ此
類中ノ一ニシテ又之ニ与フルノ威望特権過當ヲ失スルキハ
殆ント常ニ禍害ノ原因トナリ遂ニ此地位ハ或ハ傲慢人或ハ怠
惰人或ハ貴族ノ輩ガ熱望ノ集点トナルニ至ラン然リ而シテ今斯
地位ハ実地専門ノ地位ナルカ故ニ苟クモ此地位ヲ占メント欲
スル者ハ必ス積年ノ練習ト無休ノ勞働カ忍耐カ及ヒ果斷カト
ヲ要スルモノナリトセハ前ノ人物ニ斯ノ職ヲ任スルハ殊ニ危
険ノ所為ナル可シ然リトモ此種ノ人物ハ必ス総テ高貴ノ位
地ヲ熱望スル者ナレバ之ヲ此地位ヨリ擯斥セントハ實ニ頗ル
困難ノ事ナル可シ古ハ^市政ノ日ニ在リテハ社々斯ノ如キ學習
アリレカ今日ニ於テモ尚ホ各種ノ要職ニ於テハ適任ノ人才ニ
アラスレテ或ハ位階ノ貴キヲ以テ或ハ富裕ノ故ヲ以テ其地位

ヲ占ムル者甚々動シトセス然リト雖モ政府最高ノ官職例ハ
ハ太政大臣著レクハ出納高層内務尚層ノ如キニレテハ其取
扱フ所ノ事件重大ニ涉レハ常ニ公衆ノ面前ニ於テ公然舉行セ
ガル可カラザルニ由リ其時々議院ニ出テ委詳ニ其政策ヲ説明
シ且ツ其所論ヲ支持セザル可カラズ而モ議院ニ於テハ經驗ニ
富ミ慣例ニ通曉スルノ人ニ乏シカラカレハ其判断力ヲ以テ速
カニ諛大臣或ハ尚書ノ人トナリテ發見ス一キカ故ニ政府ノ最
高ガノ官職ニ於テハ既ニ無能ノ人物ヲ掃除シタリキ然レモ今
モ英國銀行ノ頭取ヲ取扱フ所ノ職務ヲ省ミルニ(仮令モ其實ハ
然ラサルモ外難ヨリ之ヲ見ルハ)終始一定ノ業ニシテ曾テ成
敗ノ跡ヲ立トコロニ露ハスヲナク又不良債ノ如キモ其ノ惡結
果ヲ顕スハ實ニ數ヶ年ノ後ニシテ當時其職ニ在ル者若シ威望
ヲ備フルノ人物ナラハ之ヲ為スノ當時ニ於テハ動モスレハ人

チレテ的當ノ処置ナリト思ハレムルヲ得可シ然リ而モ大銀
行ハ陽才陰患ノ人物カ権力ヲ握ルニ方リテ(屢ハソルカ)如ク其
人若シ威望アリテ且ツ方便家ナラハ其未ダ失策ヲ發見セラレサ
ルノ間既ニ無限ノ禍害ヲ醸生シ得ルニ最モ適便ノ場所ト云
フ可シ何トナレハ若シ僥倖ニシテ高況將ニ張り衆商其業ヲ廣
ムルノ時ニ就職スレハ彼カ為ス所ノ失策ハ其後高況頓カニ衰
ロハ衆商又タ其業ヲ縮ムルノ時ニ至ルマデハ大抵露見セザル
ヲ得而モ其發露スルノ日ニ至リテハ禍害既ニ大ニシテ實ニ測
算スルヲ得サルニ至ル可ケレハナリ是則チ諛方策ノ遠カニ採
用ス可カテナルノ第二理トス
第三 余ハ又タ頭取ヲ撰擧スルノ権ハ其之ヲ有スルノ人ヲ損
害スルアラシトテ恐ルハナリ夫レ頭取ヲ撰擧スルノ権ハ株主
諸員ニアラザレハ則チ必ズ取締諸員ニ委セザルヲ得ス若シ之

株主諸負ニ委セシ歟稍、正米利加大統領撰擧ノ弊害ニ類似
スル者ヲ惹起シ当ニ該銀行ノ株券、倫敦府ノ首長即チ英國銀
行頭取ヲ撰擧スルノ權ヲ得シカ爲メニ買取ナル可シ然リ而メ
當撰ノ頭取ハ其己レヲ撰擧セシ所ノ人々ヲ省レハ大抵該銀行
ノ大ナル負債者ナル可キニ由リ一身ノ義務正ニ兩端ニ涉リ專
ラ該銀行ニ對シタル責任ヲ尽クス可キ歟將タ己レヲ撰擧セシ
人々ノ思義ヲ執ユルニ委ヌ可キ歟其間ニ於テ大ニ迷惑スル
アラシ是ニ於テク若シ此當撰者ニシテ尋常ノ才カヲ備フルノ
用心家ナリセハ恐ラクハ此害而ナカラ生セン何トナレハ該頭
取ハ後害ノ起ラシキヲ恐レ敢テ請求ノ全額ヲ貸サ、ルカ爲メ
自己ノ撰擧者ニ損害ヲ與ヘ又タ全ク其請求ヲ拒絕スル能ハ
スレテ到底損失ニ終ハル可キ若干額ヲ貸出シ以テ該銀行ノ利
潤ヲ減殺ス可キニ由リテナリ是ニ因テ之ヲ觀レハ畢竟銀行株

主ノ大衆ハ只タ大威權職ノ撰擧ノ爲メニ不良ナル撰擧者ヲ組
立シ其擧タル所ノ人物ハ大抵適當ノ者ニアラス而カモ當撰者
ハ自己ノ良心ヲ棄ツ可キノ約束ヲ以テ束縛セラルニヤナリ
又衆取締役ヲレテ之ヲ撰ハレメハ此撰擧會ハ固ヨリ小人数
實地家ナレハ甚クシキ不適當ノ人物ヲ擧ルニ容易ク一致スル
コトナル可シ故ニ此撰擧會ニテハ稍、適當ノ人物ヲ得可シト
至氏而モ最良ノ實力者ヲ擧クルコトヲ得ナル可シ何トナレハ則
チ真ニ實力家ト稱ス可キ人物ハ多クハ過半数ノ取締役ノ如キ
富モナク身分モアラガレハ斯ル府内ノ名聲ニ於テ己レヨリ劣
レル者ニ府内ノ首位ヲ与フルハ自クテ彼ボ、最モ快シトセガ
ル所ナレハナリ且又彼等ハ素ト高業上ニ高位ト権カトヲ併セ
占ムル者ヲ撰擧セント欲スト至大ニ之ヲ妨礙セラル、所ナ
ルヘシ何トナレハ倫敦府内ニ威望ヲ有スル者及ヒ身分アル者

ハ皆ナ自己ノ為メニスルニ非カレハ則チ朋友親屬ノ為メニ此
ノ高位ヲ需メント欲スハキカ故ニ取締役ハ當ニ此等ノ人物ヲ
撰擧セシテ四方八面ヨリ依頼壓迫セラル可ケレハナリ
斯ノ如キ強勢ノ誘害原因ニ由リテ紊カル可キ撰擧ハ到底好結
果ヲ得ルヲ實ニ稀ニシテ當ニ最良ノ人物ヲ以テ此職ニ撰擧ス
ルヲ能ハサルノミナラス往々此樞要ノ地位ニ適當セサルノ人
ニシテ撰擧セラル可キノ恐レナキニアラス且又斯ノ如キ重要
ナル撰擧ノ激動ニヨリテ竟ニ該銀行ノ平穩ヲ全ク破壊スルヲ
アル可シ蓋ニ該銀行ノ取締役カ能ク實蓋ヲ擧クル所以ノ者ハ
唯々其内部ノ親睦ニアリ然ルニ此撰擧ノ激動ニ由テ諸員互ニ
相軋轢シ以テ到底此大切ナル親睦ヲ失フニ至ルニ由ルナリ然
ハ則チ取締役ハ頭取ヲ撰擧センカ為メニ必ス其德行ヲ損フハ
ケレハ遂ニ適當ナル人物ノ撰擧ヲ此撰擧會ニ属望ス可カラサ

ルニ至ラン耳

佛國ニ於テハ其他國銀行頭取ヲ撰擧センカ為メニ適當ナル撰
擧者ヲ得レノ難事ハ該銀行固有ノ性質トシテ全ク脱スルヲ得
タリキ蓋シハ人々(恐ラクハ其処置ノ結果ハ理論ノ如ク常ニ善
美ナルヲ能ハスト也)一般ニ論理上ノ道理ヲ以テ百般ノ処置
ヲ定ムルノ風アリ是ヲ以テ他國銀行ハ政府ノ財資ヲ保守スル
ヲ故ニ其頭取ハ則チ政府ノ命スル所タルナリ然レモ余カ聞ク
所ニ於テハ他國銀行頭取ハ常ニ的當ナル人物ヲ得タルヲ无シ
尤モ其副頭取ニ至リテハ同シク政府ノ命スル所ナレモ余輩ノ
期スルカ如ク通常稍適當ノ人物ヲ得タリキ然リトモ蓋シ我カ英
國ノ論ニ於テハ此點ニ就テ精密ニ探究スルハ到底无益ノ業ニ
属ス可シ然ル所以ハ英國ノ政事家ハ英國銀行頭取ノ撰擧ニ關
シテ責任ノ負擔ヲ承諾セサル可キ故ナリ若シ夫レ政府ヲシ

テ之カ撰挙ニ関涉スルヲアラレバ則チ驚慌ノ起ル毎トニ議
院ニ於テ其^及對黨ハ必ス云ハントス今回ノ禍害ハ全ク廟堂諸
相カ撰挙シタル頭取ノ其処置ヲ失セシニ專ラ原因セサルニ
必ス之カ為メ大ニ禍害ヲ増セリト或ハ又々廟堂ノ諸相ハ己ニ
其人ヲ変更シ尽シ今驚慌ノ時ニ際セラ方カニ権カヲ握ルノ人
ハ前日頭取ヲ命レタル人ノ反對黨タルヲアルベシ此ノ場合ニ
於テハ諸相ハ必ス其敵手則チ先宰相ノ命レタル頭取カ行ハン
ト欲スル所ノ者ヲ嫌斥シ以テ帝ニ頭取ノ心情ヲ憂苦セシメテ
毫モ願ルヲナカルヘシ而メ頭取カ若シ其職ヲ辞スルヲアラハ
諸相ハ則チ其黨中ノ一人ニ附与スヘキノ頭職ヲ掌握スルナリ
夫レ斯ノ如クシテ英國銀行ノ施務ト管理トハ總テ黨派ノ私ス
ル所トナラハ是テ生スル所ノ惡結果ハ實ニ之ト比較ス可キ者
ナカル可シ蓋シ各黨ノ人ハ再他ノ諸件ニ於テハ決シテ一致ス

ルヲナレト虫氏前項英國銀行頭取ノ命任ヲ黨派ノ私スルヨリ
シテ生スル所ノ弊害ニ至テハ皆ト亟カニ一致ス可キナリ
以上陳フレカ如キ弊害アルニ由リ余ハ所謂英國銀行ニ永勤ノ
頭取ヲ置キ以テ其制度ヲ改良セント欲スルノ企業ハ全ク之ヲ
損作セサルヲ得スト信スルナリ何トナレハ適當ナル頭取ノ撰
挙ヲ此方業ニ依頼スベカラサルハ勿論多クハ不適當ナル人物
ヲ撰挙スルノ危険ニ支ルヘキカ故ナリ
然リト虫氏爰ニ確カニ危険點ナクシテ夥多ノ便益ヲ期シ得ベ
キヲ信スル所ノ温順ナル一企業ノアルアリ既ニ前ニモ陳ベタ
ル如ク我カ英國政府ノ諸官省ニ於テハ首任更迭ノ弊害アリト
虫氏權威ヲ有スル属官ノ永勤ニ依テ之ヲ補償スルヲ得ルナ
リ但シ長次官ハ政務ノ変更ニ由テ更迭スト虫氏尚ホ他ノ次官
ハ此変更ニ拘ハラヌ留勤スルカ故ニ之レヲ是レ永勤ト稱スルナ

リ今此組成ハ其主義ニ於テ充分ニ英國銀行ノ制度ニ適當ナル
カ如シ何トナレハ則テ前延シタル所ノ道理ニ由テ見レハ英國
銀行ニハ決シテ永勤ノ首任ヲ置クヲ能ハスト至ル今前ニ示シ
タル道理ニ由テ見ルハ最モ権カヲ有スル永勤ノ職ニ該銀行
ノ施務上ニ缺ク可カラサル者ナレハナリ然リ而シテ此困難ト便
益トハ則テ數回ノ变革ニ由リ吾人ヲシテ我カ政府ノ重モナル
要職ヲ設クルニ當時ノ制ノ如クナラシメタル所以ナリ
斯ノ副頭取ノ職ノ如キハ決シテ倫敦府内ノ王侯ノ地位ニアラ
ス又々禍害ヲ惹起スルカ如キ権カモナケレハ後テ無力人ノ熱
望ヲ誘引スルキ引カモナレ故ニ此地位ヲシテ熱望ノ主眼タリ
吾庸ノ目的ヲラシム可キ所到底之レナキナリ且又此職ハ怡モ
政府ノ永勤ノ官吏ノ如ク其性質ニ於テハ原ヨリ属役ナレハ仮
令ニ才力家ヲ要スルカ為メニ其給料ハ如何程貴キニモセヨ給

料ノ為メニ決シテ有害無能ノ人ヲ誘引スルヲアラガル可シ
如何トナレハ無能ニシテ徒ラニ権威ヲ有スル最モ有害ナル府
内ノ名族ノ通例富豪家ニシテ若シ富豪ナラサレハ決シテ斯ノ
如キ権カヲ有スルニ能ハサル者ナリ故ニ彼輩カ欲望スル所ノ
モノハ財ニアラステ唯々地位ニ在ルノミ是ニ由テ此輩ハ假
令ニ無給ナルモ英國銀行頭取ノ職ニ就カレテ莫クノミナラ
ズ恐ラクハ之ヲ得ルニ若干ノ金錢ヲ費ヤスモ高ホ之ヲ得ン
ヲ憚グナル可シ夫レ然リ然ルカ故ニ其性質ニ於テ原ト属役タ
ル昇職ナレハ決シテ此輩ノ熱望ヲ誘引スルヲナカレハキナリ
然ラハ則テ彼ノ社會上ニ特權ヲ有スル要職ノ為メニハ無能ノ
人物ヲ誘引スルノ患アレハ給料ノ為メニハ決シテ此輩ノ熱望
ヲ誘引スルノ恐レヲキクテ適當ノ人才ヲ得ントナラハ十分
ノ給料ヲ以テ之ヲ需ムルノ優レルニ如カサルナリ

勿論斯ノ如キ永勤ノ役負ハ最モ熟練ノ銀行者ナルヲ要スルナ
リ何トナレハ則チ銀行ノ業ト再他ノ商業トハ其趣キ大ニ差異
スル所アリテ銀行ノ業ニ於テハ再他ノ商業ノ如クニ危険ヲ冒ス
コトヲ得ス必ス深ク用心ヲ用ヒサル可カラズ又々再他ノ商業ニ
於テハ其賣品ノ元價ニ一割若シクハ一割五分ノ大利益ヲ加フ
ルコトヲ得レト銀行者ニ至リテハ僅カニ英國ニ於テハ平均五分
ヨリ多カラサル金利ヲ以テ満足セサル可カラズ故ニ銀行業ニ
於テハ他ノ商業ニ於ケルカ如ク巨額ノ損失ヲ償フノ道ナケレ
ハ又々貸付ヲ為ス可キ人物ニ注意シ其ノ信ス可キト否トノ明
察セサル可カラズ且ツ通貨ハ通常ノ物貨ニ比スレハ一層世人
ノ欲情ノ真ニル物品ナルカ故ニ製造者若シクハ商人ヲ欺騙ス
ルノ企謀ニシテ一ナラハ銀行者ヲ欺騙セントスルノ企謀ハ必
ス二十以上ノ多キニ居ル可シ加之ノミナラス銀行者ハ常ニ他

人ノ金錢ヲ扱ヒ而カモ請求ニ應レテ拂戻ス可キ約束ノ金錢ヲ
扱フカ故ニ常ニ自カラ注意シテ其準備金ノ不時ノ請求ニ應ス
レニ充カナルカ否ヲ調査セサル可カラサルニ由リテナリ然ル
ニ商人ニ至リテハ大槩自己ノ資本ノミヲ以テ營業スル者ナレ
ハ毫モ此オノ用心ヲ要セス之ヲ約言スレハ大膽敢為ハ商人ノ
生計ニシテ小心翼翼ハ銀行者ノ生計ナリ故ニ余ハ爰ニ断言セ
ントス曰ク若シ英國銀行ノ役負タル諸商人ヲシテ該銀行ノ事
務ニ從フニ方リ謬リテ自家固有ノ商業ト同視スルコトナカレシ
ノタランニハ英國銀行カ一千八百五十七年ノ後ニ至ル迄屢々
其準備金ノ処置上ニ作シタル大失策ハナカリシナルベレト夫
レ英國銀行取締役カ該銀行ノ事務ニ於ケルヤ殆ント常ニ敢為
ニ歸リアリテ謹慎ニ足ラサル所多シ故ニ今該銀行ニ於テ急務
トナス所ノモノハ善良ナル謹慎ノ性ヲ輸入スルニアルナリ然

リ而ノ此謹漢ノ性ハ獨リ銀行者ノ腦裏ニ其職業ノ慣習ト其生
計ノ空氣トニ因テ自然ニ育生セシ所ナリ
永勤ノ頭取タル者ハ其全生ヲ專ハラ該銀行ノ事務ニ委子再他
百般ノ商業ニ關係スルヲ禁止セカレ可カラズ然ルニ現今ノ
取締役諸員(但レ頭取及ヒ副頭取ヲモ此中ニ籠メラ云フ)ハ孰レ
モ自家ノ商業ニ關係スル者ナレハ該銀行ノ事務カ最モ驚劇ニ
シテ且ツ尽力ヲ要スルノ時際ニ於テ却テ自家ノ商業ニ全心ヲ
奪ハル、カ如キコトハ自カラ起ラサルヲ得サルナリ何トナレハ
該銀行ノ事務ハ驚慌ノ日若シツハ驚慌ノ將ニ起ラントスルノ
時際ニ於テ最モ驚怖ナリ然ルニ斯ル時際ニ於テハ又ク一般商
ノニ於テ最モ危急ノ場合ナレハ遂テ非常ノ心カヲ要スルノ
時ナリ然ラハ則チ該銀行現當ノ制度ニシテハ首任者ノ注意ノ
點ト該銀行事務ノ最モ之ヲ要スルノ時ニ於テ動モスレハ他途

と 22

ニ專向スルノ弊ナキコト能ハス今此弊害ヲ除カント欲ヒハ該銀
行ノ外毫モ他業ニ關係ヲ有セカレ永勤ノ役員ヲ置キ以テ之ヲ
テ最モ注意ヲ要スルノ時ニ於テ專ラ之ニ心カヲ尽カシムル
ニ如クハナレ蓋シ現當取締役諸員ノ大半ハ不斷自家ノ商業ニ
苦慮シテ寸時モ之ヲ胸間ニ絶ツコト能ハスト至モ斯ノ如キ永勤
ノ役員ハ何レノ点ヨリ見ルモ驚慌ニ際レテ金錢上ノ心配ヲ有
セカレ可キナリ
永勤ノ副頭取タル者ハ取締役ノ一人ニシテ且ツ相當ノ地位ヲ
保チ敢テ頭取ニ敬事スルヲ要セカレ人ニアラサレハ不可ナリ
何トナレハ則チ敬事セカレ可カラサルノ下位ト敬崇ヲ受ク可
キ上位トノ間ニ於テハ決レテ互角ノ議論行ハル可カラズ上位
ニ居ル者ハ常ニ其下位ノ不當說ヲ排斥シテ用ヒサルヲ得可
ト至レ下位ニ在ル者ハ其上位ノ者ニ對シ敢テ其不當說ニ排撃

大藏省

ヲ試ムルカ如キハ實ニ稀レナレハナリ況ンヤ強ヒテ自己ノ説
ヲ主張スルニ於テオヤ蓋シ上位ニ居ル者ハ其下位ノ説ヲ未
クハ踴躍シテ的當ノ説明ヲ為スル能ハス動モスレハ不適當
説明ヲ為シ以テ遂ニ論伏セラル、ニ至ルナリ凡ソ重大ノ事業
ヲ謀ラシメント欲セハ充分互ニ其意ヲ盡シ能フノ人ヲ以テス
ルニアラサルヨリハ能ク論議ヲ盡カシムルヲ得サルナリ故
ニ評議者タル者ハ其思想ヲ臆藏ナク在リ体ニ吐露シ敢テ或ハ
恭敬ノ言語ノ中ニ遮妨セラレ或ハ疑懼ニ依テ故サラニ其論辯
ヲ弱メル等ノ無キヲ要スルナリ然ハ則テ今マ英國銀行ニ於
テ更ラニ要スル所ノモノハ取締役諸員ニ敬事スル所ノ新員ニ
アラス(但レ現ニ熟練ヲ有スル善良ノ書記役ニハ乏シカラス)即
チ取締役ト對等ノ権理ヲ以テ該銀行ノ事務ヲ論議スルヲ得

且ツ該銀行事務ノ外ニハ思考ヲ用スル所ナキカ為メ其論議自
カラ卓越ニシテ取締役諸員ノ説ヲ壓服シ得ヘキ同等地位ノ永
久役員ヲ置クニ在ルナリ
斯ノ如キ永勤公案ノ掌程ハ獨リ該銀行ノ事務ニ習熟スル人ノ
ミ能ク解シ得ル所ニシテ容易スク公衆ヲシテ理解セシムル
能ハサルナリ且ツ其職掌タルハ實ニ重要ナリ去レハ斯ノ如キ
永勤ノ役員ヲシテ若シ才力アリ勉強力アルノ人ナラシメハ速
カニ該銀行百般ノ事務ヲ辨理スルニ至ル可キナリ何トナレハ
既往ノ慣習ト現當ノ事情トニ於テハ再他ノ諸人ヨリ遙カニ見
識ノ密ナル者ニシテ且ツ多クノ実験ヲ歷由レ又タ屢々困難危
急ノ時期ニ遭遇セシ者ナレハ從テ常ニ往事ノ再現ニ注意スル
ヲ最モ精密ナル可ケレハナリ故ニ若シ斯ル困難危急ノ時期
再現スルヲアルニ當リテハ平常多ク相接スル人々ノ性質ニ依

リテ之ヲ處理ス可キ特別ノカヲ有ス可キナリ然リ而シテ該銀行
頭取ハ大概深ク銀行ノ事務ニ通曉セル人ニバアラスト虫氏
ナ自重謹慎ナル商人ニシテ自己在職ノ期內ハ該銀行ノ常ニ繁
榮センヲ希ヒ且ツ其施務上ニ於テ世人ノ非難ヲ免レシ
苦慮スルノ人々ナレハ若シ彼ニ教ユルニ安全ノ道ヲ以テスル
ハ彼必ス喜ンテ之ニ從フナラシ蓋シ固着ナル熟練家ノ助言
ニ從フハ常ニ安全ナルヲ得若シ之ニ從ハカルハ常ニ安全
ナルヲ能ハサルナリ是ニ於テ若シ更迭ノ頭取ニシテ永勤ナ
ル副頭取ノ助言ニ從フテ事ヲ處理スルニ於テハ反令ヒ失敗ノ
不幸ニ臨ムルコトアルモ其責ハ殆ント全ク副頭取ニ歸シ世人
ニナ言ハントス曰ク頭取ノ如キ更迭ノ役負ハ其施務ノ果シテ
如何ス可キヲ辨知スルヲ能ハカルハ敢テ怪シム可キ事ニアラ
スト虫氏永勤ノ役負ニ至リテ之ヲ辨知スルカ為メニ置カレ且

ツ之ヲ辨知スルカ為メニ給料ヲ払フ者ナリト然リト虫氏今マ
之ニ及シテ若シ更迭ノ頭取カ其同僚タル永勤役負ノ助言ヲ用
カレレカ為メニ失敗ヲ招クコトアラハ世人ノ非難ハ至ク彼カ
一身ニ集マリ議事ニ言ハント曰ク彼レ素ト經驗ヲ有セシテ
妄リニ敢テ熟達ノ人ヲ盤抑シ又夕該銀行ノ制度ニ由テ設チタ
ル老練ノ評議役ヲ措キ敢テ一己ノ專斷ニ依テ事ヲ處理シ以テ
斯ノ評議役ヲ蔑如セリト而シテ誹謗嘖々止ム時ナカラレ然リ而
シ市人ノ一身ニ取リテハ誹謗ノ如ク甚クシキ害ヲ為ス者ナレ何
トナレハ世人ハ必ス云ハン吾人ハ決シテ他人ノ過失ヲ攻ムル
ニ過嚴ナル可カラス吾人モ亦タ日々過失ナキヲ保ス可カラ
ルナリ故ニ今首任者ニシテ充分ノ力ヲ尽シタランニハ反令ヒ
比ハ過失アルモ宜ニ何ソ深ク之ヲ咎メンヤ然リト虫氏該件
如キハ大ニ異ナル所アリ頭取ハ求メテ此失敗ヲ取リタレハ則

大 歳 省

ヲ譏ル可キヲ譏ノナリ決シテ譏ル者ヲ刺ナルニアラスト而シテ
譏頭取ハ其制度ニ悖戾シテ敢テ必要ナラサルノ責任ヲ自擔
以テ熟練ノ評議役ヲ排斥シテ斯ノ如キ失敗ヲ招キタル者ナレ
ハ永久市上ニ於テ悪人ナリト評セラル、モ決シテ不当ノ事ニ
アラサレハナリ斯ノ如キ理由ナルカ故ニ該銀行ノ事務ヲ實際
ニ辦理スルモノハ則テ熟練ノ評議役即チ永勤ノ副頭取ナルニ
キナリ

該銀行ニ於テ熟練ヲ有スル永勤ノ新役員ヲ置クハ該銀行ノ行
ヒ得可キ所ノ最モ重大ナル改革ニシテ且ツ斯ノ如キ役員ハ必
ズ現今該銀行ノ新上ニ缺クル所ノモノヲ補フ可キヲ信スル
リ加之ノミナラス余ヲ以テ之ヲ判スレハ該銀行ノ組成上ニ
於テ此改革ノ如キハ恐ラクハ再他変革スベキ諸件中最モ重要
ノモノナル可シ然リト至ル者人ハ当ニ持リ此変革ヲ以テ満足

ヒ
25

スベキニアラス尚ホ他ノ切要ト認ムル数件ヲモ併セテ改革セ
ンコトヲ冀望スルナリ

一倫敦ノ諸銀行者カ向後英國銀行ノ取締役ニ列スルヲ拒絶
ス可カラス既ニモ説明セシ如ク旧時ノ思想ハ倫敦諸銀行
者ヲ尽ク該銀行ノ競争者ト見做セシヲ以テ彼等ニシテ若レ此
列ニ加ハルコトヲ得ハ必ス該銀行ヲ害スル者ナリト為セリ然レ
氏今日ノ倫敦諸銀行者カ該銀行ニ於ケルヤ全ク昔日ト異ナル
所ノ關係ヲ有スルニ至リタリ今日ノ諸銀行者ハ人民ノ中ニテ
ハ該銀行ノ最モ大ナル預主ナリ故ヲ以テ彼等ハ專ラ該銀行ノ
安危如何ニ因リテ其得喪ニ關係アレハ十分ナル銀行準備ノ保
持如何ニ就テ最モ注目スヘシ何トナレハ各自ノ信憑ト其巨額
ナル預ケ金ノ安全トハ兩ナカラ一ニ此準備ニ大關係ヲ有スル
コトナリ加之ノミナラス彼等ヲシテ該銀行ノ取締役ニ列スルコ

ヲ得セシムルハ該銀行域外ノ銀行業ニ於ケル熟練ハ渾テ該銀行
ノ所得ト成ル可シ但レ現當ノ取締役ハ全ク該銀行中ニ於テ成
育シタル者ナレハ其域外ノ銀行業ニ至テハ絶テ之ヲ熟知スル
者ナレ然ルニ爰ニ又ク諸銀行者ヲシテ英國銀行取締役ノ列ニ
在ラシムルハ必ズ該銀行ノ秘事ヲ漏ラシテ該銀行ノ処置ナ
妨クルノ恐レアリトノ旧説アルナリ然リト雖モ諸銀行者ハ通
常人民ノ中ニ就テ最モ沈黙ト穩秘トニ慣レタル者ナレハ彼等
ト之ヲシテ秘事ヲ知ラシムルモ決シテ大ナル害ヲ提起スルコ
トナカル可シ且ツヤ今日ノ諸銀行者ヲ該銀行ノ秘事ヲ知ルト知
ラサルトハ其門ノ毫髮アルノミ既ニロンドン、セントウエズ
ニ関係セシ一會社ノ分散セシハ極メテ近頃ノ事ナリ然レ則
チ此兩銀行ノ役員カ共ニ一會社ニ淺マルノ場合ニ於テ誰カ其

と
26

秘事ノ他聞ニ漏レガルヲ保ス可クヤ是ニ由テ之ヲ觀レハ強
ク彼等ヲ拒絕シ斯ノ列ニ入ルヲ得ガテシムルモ其益タル實ニ
許ラズ之ヲ許スノ優レルニ如カナルナリ
余カ前ニモ論ルカ如ク所謂銀行者ナルモノニ區別ヲ立ツ
ルハ專ラ我英國一種ノ意義ニ依ルナリ蓋シ歐洲大陸ノ意義ニ
從フテ言ハハ「ロスタル」會社社員モ亦ク之レ一個ノ銀行者ナ
リ然ルニ該會社々員ハ既ニ英國銀行ノ取締役タルヲ得タリ
而テ該銀行ハ此人ヨリ多クノ貴重ナル通信ヲ得ルカ故ニ該會
社ノ一社員ヲシテ取締役ニ列セシムルハ最モ其ノ冀望スル所
ナルヘシ甚レ然リト雖モ英國ノ所謂銀行者ヲ拒絕ス可シ
ト云フハ抵抗主義ヨリ之ヲ論スルハ外國ノ銀行者タル「ロス
タル」會社ノ社員ノ如キモ亦ク等シク拒絕セサルヲ得カ
ル理アリ何トナシテ該社員モ又々時アリテ該銀行ノ処置ニ反對

セル利害ヲ有フノナキニアラヌ例ハ該社負ハ外国為換手
形商ノ最モ大ナル者ナルニ因リ該銀行ニ於テ正金ノ濫出ヲ防
カンカ為メニ方サニ金利ノ割合ヲ高ムルノ時ニ際シ彼ノ社負
ハ却テ正金ノ輸出ヲ要スルノナアル可ケレハナリ故ニ區ヨ
採ルニ足ラサルノ説ナリト雖氏利害相反ト云フノ一点ヨ
リ論スレハ彼ノ外国為換手形商ノ最モ大ナル者モ亦該銀行ノ
取締役ト成ルヲ得サル可シ然リト雖氏事際ヨリ云ハ各取締
役ノ一己ノ利害ノ如キハ措テ問ハサルモ可ナリ何トナレハ一
種ノ通信ヲ持来ル所ノ取締役ハ殆ト皆ナ利害相反スル無キヤ
否ヤヲ疑フモラサルハナケレハナリ蓋シ彼等カ持来ル所
通信ハ尽ク自家現在ノ高況ニ於テ得ルモノニシテ且ツ該銀
行ノ処置振リニ申テ其高業上ニ或ハ利ヲ来シ或ハ損ヲ招クノ
ナアル可キナリ然レハ此故ヲ以テ該銀行ハ全ク有用ノ通信ヲ

ヒ
27

絶ッ可カラス要スル所ハ一体ノ的当ナル取締役ヲ得ルニ在レ
ハ一身ノ利害ヲ謀ルノ偏心ハ其全体ノ為メニ排斥セラレテ全
ク処置上ニ絶ッ者ナルヲ信セカレ可カラス夫レ然リ今マ前ニ
述ブレ所ノモ以テ果シテ正當ノ主義ナリトセハ英國ノ所
謂銀行者カ取締役ニ列スルヲ拒絶スルハ實ニ両立ス可カラサ
ルナリ
又々金藏委員ノ制ニ就テ屢々異説ヲ生スルヲ聞ケリ蓋シ該委
員ハ通例頭取副頭取及ヒ取締役ノ已ニ該二職ヲ歴踐シタル者
ヨリ成立スルナリ然リト雖氏頭取副頭取ハ大抵頭番ヲ以テ勤
ムルヲナレハ斯ノ如キ撰擧法ハ重モニ高齢ヲ以テ撰ヲ得ル
故ニ嘗々高齢ニ過盛ヲ与フルノミナラス并セテ特権ヲ与フル
ナタルニ付テ異説アルヤ必セリ然レハ實際此特権ナル者ハ既
ニ背破サレタニアルヲ信ス何トナレハ若シ取締役タル者自

家商業ノ繁忙ニテ閑暇ナキカ為メニ頭取ノ職ニ就クヲ辞ス
ルニ方リテハ頭取ノ職ヲ歴踐セサルニ拘ハテス時ニ由テ一
藏委員ノ仲間トナルヲ望マル、アアレハナリ然リ而メ唯ニ年
ノミニ拘ハラシヨリハ寧ロ其ノ才カヲ以テ事務委員ニ近
ル所ノ委員ヲ撰挙スルハ正理上ヨリ云ハ一確カニ勝レル者
ル莫ニ明ラカナリ

又タ該銀行取締役ノ過多ナルヲニ付テ異説ヲ唱フル者アリ但
シ該銀行ノ役員ハ取締役二十四名及ヒ頭取副頭取各々一名
總員二十六名ヲ以テ全局ヲ成スナリ實ニ是レ困難ナル事務ヲ
評議スルニ為メ一是ク過多ニ失スルカ如シ加之ノミナラス此
者莫ハ一週間唯々一度ノ集會ニシテ會議ノ時間モ又タ甚ク短
キカ故ニ益々其缺欠ヲシテ張大ナラシムルナリ斯ノ如キ習慣
ナルカ故ニ若シ集會ノ四時間ニモ涉ルアレハ一單ニ此ノ源由

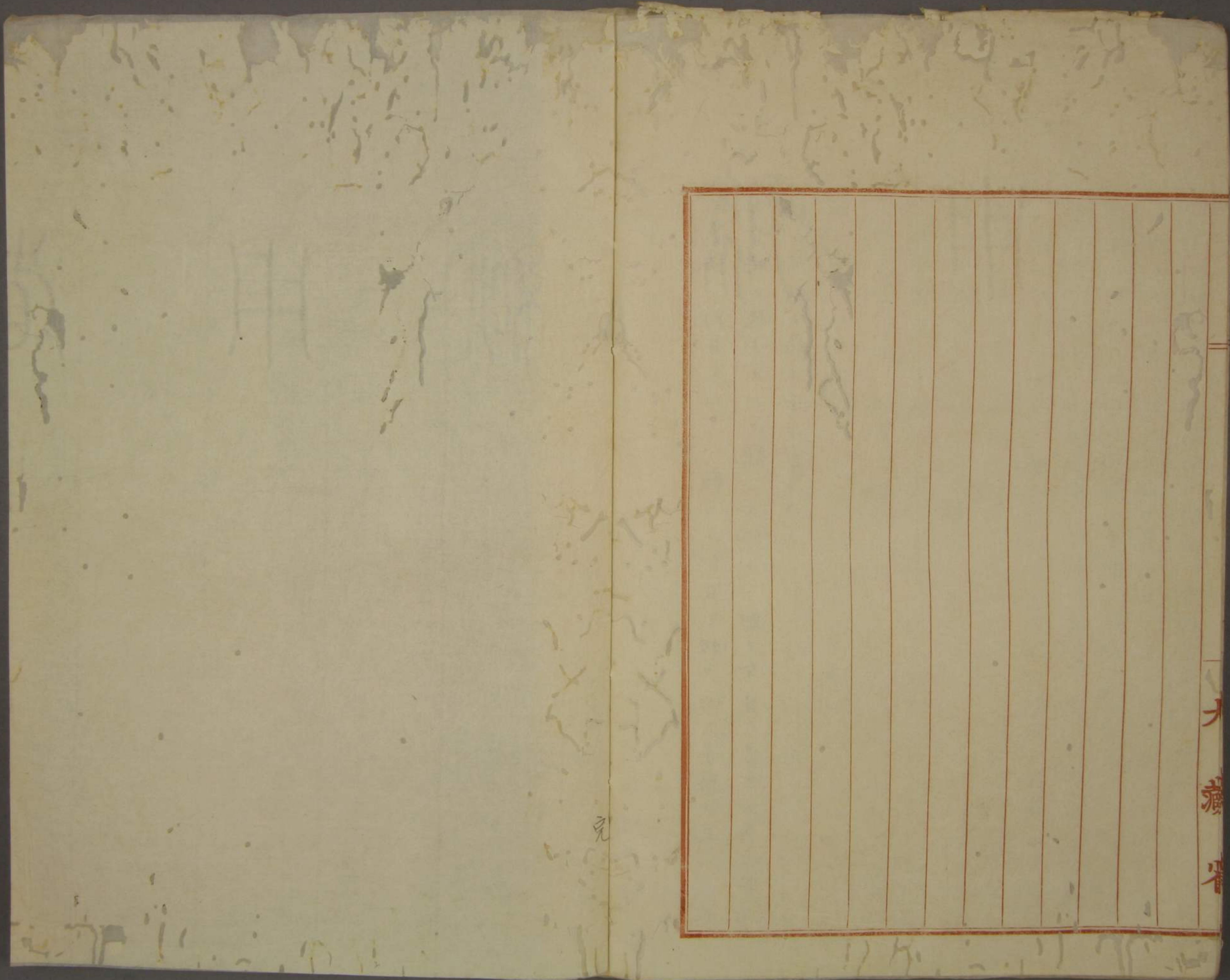
と 28

ヨリシテ驚慌ヲ提起ス可シト云フ者アリキ此言タル固ヨリ過
大ノ言語ナリト雖モ又ク全ク其實ナキニシモアラヌツキ
位曰ク「該銀行ノ集會ハ常ニ十一時半若シクハ十二時ニ始マル
ニ由リ若シハ一ニ至リテ尚ホ未ク散セサルカ如キアアレハ
世人ハ忽チ此故ヲ以テ重大ノ変革ヲ議スルモノト考ヘ株式相
庭會所及ヒ銀市ハ之カ為メ遽カニ激動ヲ起シ諸人皆ナ他ニ先
チテ其決議ヲ聞カンヲ争ヒ該銀行會堂ノ門外ニ群集スルニ
至ルベシト然リ而メ又思ヘラク門外ノ人心斯ノ如ク性急ナ
ルヲ知ルハ一堂上ノ諸員モ亦ク(性急ナラガレカ)知ラカレ
自ッラ其決議ヲ急ニセサルヲ得ナルニ至ル可シ嗚呼斯ノ如
一集會ノ決議ニシテ斯ノ如キ重大ノ事件ト成ルハ實ニ怪シム
可キノ極ナリト云ハザルヲ得ズ

今日英國銀行ノ組成ヲ變革セントスルニハ一ノ故障アルヲナ

キナリ抑モ該銀行今日ノ制度ハ其創業ヨリ年月ヲ経ル已ニ多ク而カモ今日ノ目的ヲ以テ造リタル者ニアラス蓋シ創業者カ当時ノ目的ハ政府ニ財資ヲ貸付ケ政府ノ財資ヲ預リ及ヒ所持者ノ望ニ應レテ正金交換ノ手形ヲ發行スルノ三事務ヲ取扱ハカ爲ノニアラサルヲ得ス然レモ今日該銀行カ一大回ノ總銀行準備金保持者ト成ルカ如キニ至リテハ一千七百年代ノ昔時ニ於テハ決シテ当時ノ人ノ想像ニダモ及ハサリシ所ナルヤ必セリ是ニ因テ之ヲ觀レハ一般古物ヲ以テ新用ニ供セント欲スルニ方リテハ先ツ其用ニ的当スルヤ否ヤヲ測リ然ル後之ヲ用ヒガルニカラカニ古瓶ヲ出シテ新酒ヲ盛ラントスル者ハ必ス先ツ其器ノ現状ヲ察シ其量ノ如何ヲ檢シ而ル後之ヲ用ヒラ始メテ誤リナキヲ得可シ該銀行ノ組成ニ於ケルモ亦タ当ニ斯ノ如キノミ其創造ハ一千七百年代ノ昔シニ在レハ其用ハ上ノ

三事務ニ的当スルノミ願ミテ今日取扱フ所ノ事務ヲ見ルニ漫ク昔時ノ狭小ナルニ類セス然ラハ則チ今日ハ当カニ其変革ヲ行フ可キノ時ト云フ可キナリ



大藏經

